

## 上咽頭擦過治療 (Bスポット療法) とは？

- ・ **塩化亜鉛**を染み込ませた咽頭捲綿子 (下図黒線) で、鼻の奥・ノドの上部にある**咽頭扁桃** (上咽頭にあるリンパ組織) を、**こすりながら刺激**する治療法です。
- ・ 塩化亜鉛による抗炎症作用、物理的刺激による瀉血作用、視床下部刺激による自律神経系・内分泌系、脳脊髄液系の調整作用等により、**全身性に影響**を与えていると想定されています。

## どのような症状や疾患に対して有効でしょうか？

### ① 鼻咽喉頭・耳部周囲の症状

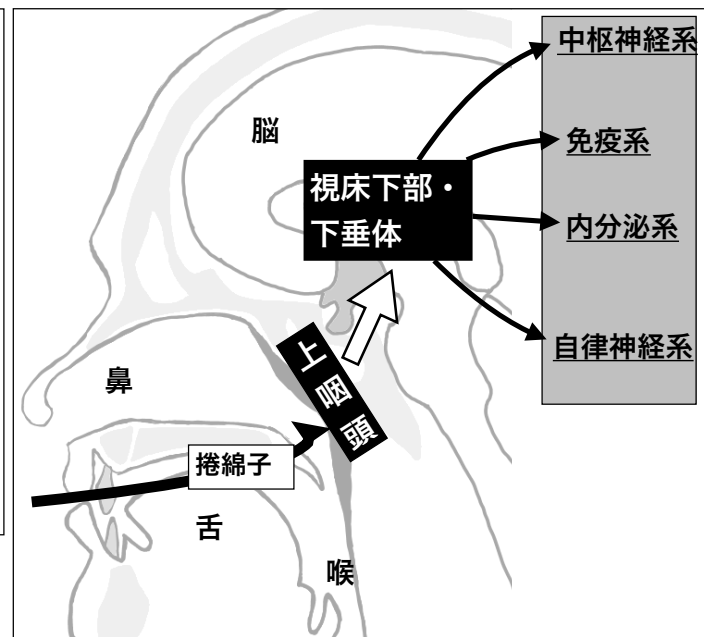
- ・ しつこい後鼻漏、咳や痰、喉頭異常感、嘔声
- ・ めまい、耳鳴、難聴、耳閉感、自声強聴
- ・ 頭痛、顎関節痛、いびき

### ② 自律神経系関連

- ・ 全身倦怠感、肩こり、線維筋痛症、睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害、慢性疲労症候群

### ③ アレルギー・自己免疫系関連疾患

- ・ IgA腎症、掌蹠膿疱症、慢性関節リウマチ、ネフローゼ症候群、アトピー性皮膚炎、アレルギー性血管炎、多形性浸出性紅斑、乾癬



## 治療時・治療後に痛みや出血、タンや咳が増悪したのですが？

- ・ Bスポット治療当日～翌日に、上咽頭の炎症部分の薬物に対する反応性増大によって、**症状が一過性に増悪することがあります**。この場合、**滲出液は飲み込まずに外に吐き出して**ください。
- ・ このような増悪現象は、炎症部分に薬物が反応したという**良い証拠**と考えられます。
- ・ Bスポット治療の継続によりこのような増悪現象は減少し、症状が改善していくと考えられます。

## どのくらいの頻度で治療したら良いのでしょうか？

- ・ Bスポット治療時に**咽頭捲綿子に血**がついていたり、自宅で**点鼻薬をさすと滲みる**といった**上咽頭の炎症が残存**する方には**週に2回以上**の、**落ち着いている方には1～2週間に1回**のBスポット治療をお勧めします。
- ・ 症状が一過性に改善しても、上咽頭の炎症が残存した状態でBスポット治療を中断すると、症状が再度増悪して繰り返すこともあります。
- ・ 長期の通院継続が困難な場合は誠医師までご相談ください。

その他、当院では下記療法も実施しております。詳細は誠医師までご相談ください。

- ・ **アレルギーに対する舌下免疫療法**
- ・ **睡眠時無呼吸症候群に対するCPAP(持続陽圧呼吸療法)**

ご興味をお持ちの方のための情報・問い合わせ窓口は

当院ホームページ (右記QRコード、<http://hamanoue-clinic.deca.jp>)

